

嘉麻市議会へ行こう！

山田中学校3年生が議会を傍聴

平成29年9月19日の一般質問に、嘉麻市立山田中学校の3年生75名が、公民的分野「民主政治と政治参加」の学習への意欲喚起を図ること、また、地方政治の実際を観ることで、自分たちの住んでいる地域の出来事に興味・関心を持たせ、地域を愛する心の育成を図ることを目的に市議会を傍聴しました。

生徒の皆さんは真剣な眼差しで一般質問のやり取りを見守り、メモを取っていました。傍聴後の感想や疑問をいただきましたので一部紹介します。



感想

- ・ 議会全体の雰囲気は静かで、堅いと思いました。
- ・ とても静かで緊張しました。
- ・ 嘉麻市をより良い町にするために、いろいろな話し合いをしているんだなと実感しました。
- ・ 私達の学校生活や日々のくらしについて話し合われているのが分かりました。
- ・ より良い町にするには議会が大切だと思います。
- ・ 嘉麻市には様々な課題があると学びました。そして、色々な対策をしていることも初めて知りました。
- ・ 市議会議員さんが課題に対して取り組んでいる姿を見て、自分も勉強を頑張っ、あんなふうになってみたいなと思いました。

疑問

問 議場にある時計みたいなものは何ですか？



答 一般質問の残り時間を表すものです。質問者45分、答弁者45分の時間内で一般質問を行います。

問 全員がタブレットを使っていたが何を見ているのですか？

答 嘉麻市議会では平成26年9月からタブレット端末を導入し、議案や参考資料を閲覧しています。議会のペーパーレス化として紙代や印刷代の削減を行っています。



問 誰でも傍聴しているのですか？

答 誰でも傍聴できません。嘉麻市議会では「傍聴席に入ることでできない者」が規則で決まっており、その中で「児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることはいけません。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りではありません。」となっています。

今回、山田中学校の皆さんは事前に、議長の許可を得て傍聴しました。

